

特別展「いつだって猫展」結果報告

1. 名称： 特別展「いつだって猫展」
2. 主催：「いつだって猫展」仙台展実行委員会（仙台市博物館・ミヤギテレビ）
3. 後援：宮城県、宮城県教育委員会、宮城県文化振興財団、仙台市市民文化事業団、河北新報社、毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、岩手日日新聞社、山形新聞・山形放送、福島民友新聞社、NHK 仙台放送局、TBC 東北放送、仙台放送、KHB 東日本放送、エフエム仙台、ラジオ 3FM76.2、テレビ岩手、福島中央テレビ
4. 会期：平成 31 年 4 月 19 日（金）～6 月 9 日（日） 開館日数 46 日間
休館日 毎週月曜日（ただし、4 月 29 日、5 月 6 日は開館）、5 月 7 日（火）
開館時間 9:00～16:45（入館は 16:15 まで）
5. 会場：仙台市博物館 テーマ I 展示室、企画展示室、コレクション II 展示室
6. 観覧料：一般・大学生 1,300 円（前売 1,100 円）、高校生 700 円、小・中学生 500 円
7. 展示構成：

第 1 章 江戸の暮らしと猫	第 2 章 化ける猫
第 3 章 人か猫か、猫か人か	第 4 章 福を招く猫
第 5 章 おもちゃ絵になった猫	
8. 関連イベント：
 - (1) 記念講演会①（申込制・聴講無料）
日時：4 月 20 日（土） 13:30～15:00 会場：博物館ホール 参加 112 人
講師：津田卓子氏（本展企画者・名古屋市博物館学芸員）
演題：「江戸の猫ブーム」
 - (2) 記念講演会②（申込制・聴講無料）
日時：5 月 11 日（土） 13:30～15:00 会場：博物館ホール 参加 87 人
講師：石黒伸一朗氏（村田町歴史みらい館専門員）
演題：「東北の猫たちと人とのホットな関係－民俗事例を中心に－」
 - (3) 招き猫絵付け体験（申込制・参加費 500 円）
日時：5 月 12 日（日） 午前の部：10:00～正午、午後の部：13:30～15:30
会場：仙台市博物館講習室 参加 午前の部 28 人、午後の部 28 人 講師：館職員
 - (4) プレイミュージアムイベント 「あなたも摺師－猫版画－」 会期中
3,065 人（大人 2,173 人 子ども 892 人、1 日平均約 66 人）
 - (5) うちの猫自慢 会期中 場所：1 階ギャラリー 写真枚数 332 枚
 - (6) 2 2 の日先着プレゼント 5 月 22 日（水） 開館後約 1 時間で終了。
 - (7) 猫またクイズ 自由参加型 会期中 参加約 6,000 人
 - (8) 人気にゃんキング 自由参加型 会期中 12,980 人
 - (9) ミュージアムセミナー 4 月 21 日（日） 10:00～11:30 参加 34 人
 - (10) 友の会広報セミナー 4 月 22 日（月） 13:30～15:00 参加 88 人
 この他、来場者 1 万人セレモニー（5 月 3 日（金））、22,222 人セレモニー（5 月 25 日（土））を実施。
9. 観覧者数：33,512 人（1 日平均約 728 人）
10. 観覧者の様子など
観覧者の客層は、他の展覧会に比べ、女性および若者層が多かった。会場内では、作品について語り合いながらご覧になる方もおり、にぎやかな会場となった。猫またクイズやニャンキングなど自由参加型イベントにも多数の観覧者にご参加いただき、また、館内外の作品をモチーフとしたパネルや立て看板等にも多くの方に注目していただけて良かった。
<観覧者の感想（アンケート）>
・出品作品の多さに驚かされました。歌川国芳の作品が大変素晴らしかったです。

- ・人と猫のユーモアあふれるつながりがほほえましいと思いました。
- ・展示の中に漫画での解説が入っていたのが面白い試みだと感じた。
- ・常設展でも猫の浮世絵が近くで見ることができて嬉しく、びっくりだった。
- ・壁紙の色、キャプションが凝っていて見ごたえがあった。
- ・展示室内にイスがあるとよかった。
- ・混雑していたので展示品が見づらかった。ルートも多少わかりづらかった。
- ・売店がせまいため車イスの方でも動けるようにしてほしい。